



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 成長戦略としてプラスチック成形を強化し、金型設計から製作・射出成形まで一括管理体制で行い、短納期対応できるのが強みです。

Q2 医療産業参入について教えてください。

A2 医療産業は成長著しく、本社工場では医療機器製造業許可とISO13485を取得し、医療用処置具の部品加工・組み立てを行っています。

代表取締役
船水 清吾 氏

《 信条 》
スピード・創造・実践をモットーとしています



培った組み立て加工技術で
東日本に9工場を展開

昭和54年（1979年）に青森県平川市で創業した株式会社タカシン。青森県内を中心に埼玉県内などに工場を展開し、平成23年（2011年）には仙台工場を開設している。

同社ではコネクター・カートリッジの組み立てから半導体検査用プローブ治具製造・組み立てなど、電子機器製造受託を中心に試作・部品調達・組み立て・検査、プラスチック成形、生産設備設計・製作など幅広く手掛ける。中でも仙台工場を拠点とする機械加工部では、金属加工や樹脂加工、難形状から微細加工まで形状や材質を選ばない加工・製造を行っている。

ハードルが高い航空機産業
さらなる高精度化が不可欠

仙台工場では、加工部品・組立部

FILE.13

高精度部品製造で試作から量産まで対応

品で使用する治工具や消耗部品の設計から製作までを手掛けている。しかし、今後の成長分野と注目されている医療・航空機産業に参入するためには、既存の設備で対応することは難しく、これまでは断念せざるを得なかった。また、顧客からも高精度化・短納期化・低コスト化の要望も高まってきた。そのため、最新複合加工機の導入が必要となっていた。

「従来設備では作業員の錬度に頼っていた部分もあったため、設備



の導入と加工プログラムデータの集積に踏み切りました」と機械加工部長は語る。

高めた技術で医療分野進出
航空機産業参入環境も整う

導入した複合加工機では1台で5面加工が施せるため、従来のNC旋盤とマシニング加工機を使って加工していた時と比べ、リードタイムの大幅な削減を実現。精度においても従来の約2倍という高精度化を達成した。

「操作マニュアルをマスターするだ



けでなく、幾度となく加工シミュレーションを繰り返したことでデータを蓄積し、さらなる技術力向上と低コスト化も実現しています」と機械加工部長。また、医療分野進出に対応するために「医療機器総括製造販売責任者」資格の取得や、新事業開拓への状況を整えつつある。

高精度化と低コスト化で
顧客サービス向上

今回の成果を元に医療分野の機械部品製作に参入。すでに売上げの1割ほどを占めるようになっていく。また、高精度化と低コスト化を実現したことにより、主な顧客である半導体メーカーや治工具メーカーからの受注も順調に増えている。

 株式会社タカシン

代表取締役 / 船水 清吾

所在地 / 宮城県仙台市若林区六丁の目元町8-28

T E L / 022-288-6108

【24年度補正】
複合加工機導入による高精度化・低コスト化を実現し医療・航空機産業への参入を目指す。

事業テーマ

る。今後は最新CAD/CAMシステムの導入など、さらに複雑な部品への対応も検討中だ。

